

第33回日本身体障がい者水泳選手権大会実施要綱

(IPC—SW 公認大会予定)

1. 目的 本大会は、全国の障がい者が水泳競技を通して自己の有する能力に挑戦し、社会へ参加する意欲を大いに喚起するとともに障がい者のスポーツ振興を図ることを目的とする。
また、多くの方にボランティア参加や選手への応援参加を呼びかけ、水泳競技の魅力を知ってもらおうとともに東京2020五輪・パラリンピックへつながる大会とする。
2. 主催 一般社団法人 日本身体障がい者水泳連盟
3. 主管 第33回日本身体障がい者水泳選手権大会実行委員会
4. 協力 福岡県水泳連盟、福岡水泳協会、日本スイミングクラブ協会九州支部、九州障がい者水泳連盟
(予定) 障がい者スポーツ指導者協議会九州ブロック、福岡障害者スポーツ指導者協議会、H.S.S.会
5. 後援 文部科学省、スポーツ庁、厚生労働省、内閣府、(公財)日本障がい者スポーツ協会、
(予定) 日本障がい者水泳協会 (公財)日本水泳連盟、(社福)日本身体障害者団体連合会、
(社福)全国社会福祉協議会、福岡市、(社福)福岡市社会福祉協議会、
(社福)福岡市身体障害者福祉協会、(公財)福岡市スポーツ協会、(公財)福岡県体育協会、
福岡市障がい者スポーツ協会、福岡県障害者スポーツ協会、
(社福)福岡市社会福祉事業団・福岡市立障がい者スポーツセンター
6. 協賛 大和証券グループ、味の素(株)、(株)ゴールドウイン、(株)フジタ、全日本空輸(株)、
(予定) あいおいニッセイ同和損害保険(株)、トヨタ自動車(株)、DHLサプライチェーン(株)
タキロンマテックス(株)、ヤマハ発動機(株)、東燃ゼネラルグループ、大塚製薬(株)、
(株)ヒカリスports、(株)グロリアツアーズ、福岡ノーマライゼーション・ライオンズクラブ、
7. 期日 平成28年11月12日(土)～11月13日(日)
クラス分け11月11日(金)11時～
8. 会場 福岡市立総合西市民プール (50m×8レーン、水深3.3m)

〒819-0046
福岡市西区西の丘1-4-1
http://www.sports-fukuokacity.or.jp/facility/pool_nishi/facility.html#facility1
9. 競技方法
 - (1) 個人種目は、男女別に行う。
 - (2) 個人種目は、すべてタイムレースとする。
 - (3) リレーは、予選・決勝を行う。
10. 競技種目 別紙「競技種目一覧表」のとおり

1 1. 競技順序 1 5. 日程 (4) 競技日程のとおり

1 2. 競技規則 IPC-SW 競技規則および本大会要綱等による。

1 3. 参加資格および制限

(1) 参加資格 個人種目は、下記「①②③」または「①②④」のいずれかに該当する者。リレーは、下記①②を満たしている者。

①平成28年度日本身体障がい者水泳連盟登録者。

②肢体不自由者および視覚障害者は、日本身体障がい者水泳連盟が認めたクラス分けをすでに受けている者。

③下記の大会において、1種目以上別紙の参加標準記録に達している者。

- ・第26回東北障害者選手権水泳競技大会
- ・第30回関東身体障害者水泳選手権大会
- ・第23回中部障がい者水泳選手権大会
- ・第27回近畿身体障害者水泳選手権大会
- ・第22回中国四国身体障害者水泳選手権大会
- ・第27回九州障がい者水泳選手権大会

④日本身体障がい者水泳連盟から推薦を受けた者。

(2) 制限 ①個人種目は、1人2種目以内とする。ただし、リレーは含めない。

②リレーは、登録団体対抗とし、1団体1種目2チーム以内とする。

(3) 留意事項 ①シニア部門 (大会1日目現在で満50歳以上の方) について

ア、種目は、50mの自由形・背泳ぎ・平泳ぎ・バタフライの4種目を実施する。

イ、一般の部の参加標準記録を達成している場合は、一般の部・シニアの部のいずれかを選択して出場することができる。

②1種目のみ参加標準記録を達成している者の中で、2種目目の出場を希望する者は、参加標準記録を達成していなくても出場することができる。ただし、競技の進行に支障があると審判長が判断した場合、競技を中止させることがある。

③大会で実施する各リレーはポイント制を採用する。28ポイントリレーと38ポイントリレーの両方に同一選手が参加することはできない。

14. 表彰

(1) 男女別、種目別、およびリレー種目で1位、2位、および33位の選手にメダルを授与する。ただし、参加申込者が2名(チーム)までの種目は1位のみ、3名(チーム)の種目は2位までにメダルを授与する。

(2) リレー優勝チームには優勝トロフィーを授与する。(取りきり)

(3) オープン競技にもメダルを授与する。

(4) 完泳者全員に記録証を発行する。

15. 日程

(1) 受付時間 11月12日(土) 10:00～

11月13日(日) 8:30～

(2) 練習時間 11月12日(土) 10:10～11:30

11月13日(日) 8:40～9:50

(3) 監督会議 実施しない。

(4) 競技日程

| 競技順序 | |
|------------------------|--------------------|
| 11月12日(土) <1日目> | 11月13日(日) <2日目> |
| 開会式 12:00 競技開始 | 競技開始 10:00 |
| 12:45 | 23. 200mリレー 28p 予選 |
| 1. 女子400m自由形 | 24. 200mリレー 38p 予選 |
| 2. 男子400m自由形 | 25. 女子 200m自由形 |
| 3. 女子 200m個人メドレー | 26. 男子 200m自由形 |
| 4. 男子 200m個人メドレー | 27. 女子 100mバタフライ |
| 5. 女子 150m個人メドレー | 28. 男子 100mバタフライ |
| 6. 男子 150m個人メドレー | 29. 女子 100m背泳ぎ |
| 7. 200mメドレーリレー 28p 予選 | 30. 男子 100m背泳ぎ |
| 8. 200mメドレーリレー 38p 予選 | 31. 女子 50m平泳ぎシニア |
| 9. 女子 50m背泳ぎシニア | 32. 女子 50m平泳ぎ |
| 10. 女子 50m背泳ぎ | 33. 男子 50m平泳ぎシニア |
| 11. 男子 50m背泳ぎシニア | 34. 男子 50m平泳ぎ |
| 12. 男子 50m背泳ぎ | 35. 女子 50m自由形シニア |
| 13. 女子 50mバタフライシニア | 36. 女子 50m自由形 |
| 14. 女子 50mバタフライ | 37. 男子 50m自由形シニア |
| 15. 男子 50mバタフライシニア | 38. 男子 50m自由形 |
| 16. 男子 50mバタフライ | 39. 200mリレー 28p 決勝 |
| 17. 女子 100m自由形 | 40. 200mリレー 38p |
| 18. 男子 100m自由形 | 決勝閉会式 |
| 19. 女子 100m平泳ぎ | |
| 20. 男子 100m平泳ぎ | |
| 21. 200mメドレーリレー 28p 決勝 | |
| 22. 200mメドレーリレー 38p 決勝 | |

注1: 申込状況などにより、一部変更することがある。

(5) J-FCS クラス分け 11月11日(金) 11:00~(予定) ※受検可能な選手には別途案内がある。

16. 本大会における J-FCS クラス分けについて

(1) 下記①②③の条件をすべて満たす選手はクラス分けに申し込まなければならない。

①第32回日本身体障がい者水泳選手権大会で1位の選手(シニア種目を除く)

*当連盟ホームページで確認のこと

http://paraswim.jp/wp/wp-content/uploads/2015/11/32nd_Japan_Paraswim_Results_01.pdf

②肢体不自由者(S・SM1~10, SB1~9)の選手

③クラスステータスが「L」の選手

(2) 肢体不自由(S21を含む)でステータス「L」の選手は希望すれば申し込むことができる。

(3) 対応できる人数に限られるため、申込多数の場合は、今回受検できないことがある。そのため、クラス分けテストの受検の可否については別途連絡する。また指定された実施時間の変更はできない。申込者は前もって金曜日の日程を調整しておくこと。

*なお、クラス分けテスト受検の優先順位は概ね、①連盟が指定した選手、②100m以上の種目で上位の選手、③住居地が開催地に近い選手の順で優先する。

(4) クラス分け受検については下記をよく読み、理解して受検すること。

クラス分けを受検する肢体不自由の選手は100m平泳ぎ（SB1～3は50m平泳ぎ）とS種目100mをエントリーしなければならない。（決定された受検者は、指定された種目のほか1種目まで追加エントリーが許される。ただし、参加費別途1000円必要となる。）

「競技とクラス分け」…競技とは障がい克服し、持てる能力をすべて発揮して行うものである。競技と同様に、すべてのクラス分け手順においてクラス分けに協力し、自分の持ちうる能力を発揮しなければならない。もし、クラス分けに協力しない、あるいは各テストで整合性が取れない、障がいが安定していない等と判断された場合は「クラス分け中止」ないし「クラスなし」となることがある。この場合、大会には参加できるが、表彰はなく、記録は公認されない。なお、クラス分けに際し診断書の提出を指示されたものは提出しなければならない。クラス分けテスト中は選手側のコーチやクラブメンバー、保護者などから1名、立ち会わなければならない。クラス分けはクラス分けの諸手続きからテストならびに競技観察まで含まれる。

(5) 選手のクラス評価は今回のクラス分け受検者以外の選手についても、競技全般を通じて実施する。競技観察の結果クラス分け委員から指示があれば、選手はその指示に従わなければならない。

17. ドーピング検査（以下、JADAからの注意喚起文による）

- ・本競技会は、日本アンチ・ドーピング規程に基づくドーピング・コントロール対象大会である。
- ・本競技会参加者は、競技会にエントリーした時点で日本アンチ・ドーピング規程にしたがい、ドーピング・コントロール手続の対象となることに同意したものとみなす。
- ・大会期間中現在で未成年者(20歳未満)については、ドーピング検査を含むドーピング・コントロール手続に対する親権者からの同意を所属競技団体へ別途提出しているもののみエントリーできる。
- ・本競技会参加者は、本競技会において行われるドーピング検査（尿・血液等検体の種類を問わず）を拒否又は回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続きを完了することができなかった場合等は、アンチ・ドーピング規則違反となる可能性がある。アンチ・ドーピング規則違反と判断された場合には、日本アンチ・ドーピング規程に基づき制裁等を受けることになるので留意すること。
- ・日本アンチ・ドーピング規程の詳細内容およびドーピング検査については、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構のウェブサイト (<http://www.playtruejapan.org>) にて確認すること。

18. 免責事項

- (1) 参加者の健康管理は、本人の責任とし各自十分注意すること。
- (2) 会場における事故などについては応急処置のみとし、その他の責任は負わない。

19. 申込規定

- (1) 申込方法 ◇団体 別紙「団体用参加申込用紙：様式1・様式2」を参照に申し込むこと
◇個人 別紙「個人用参加申込用紙：様式1」を参照に申し込むこと

(2) 申込先 〒107-0052 東京都港区赤坂1-2-2

日本財団ビル4F パラリンピックサポートセンター内

一般社団法人 日本知的障害者水泳連盟「第33回身体障がい者水泳選手権大会」宛

*申し込み書の送付は必ず、郵送で行うこと（切手などはご負担願います）

(3) 問合せ 下記にファックスにて問い合わせること。

FAX: 03-6229-5420

(4) 参加費

個人種目 1種目参加: 2,000円, 2種目参加: 3,000円リ

レー種目 1チームにつき 3,000円

*参加費の納入は、下記指定口座への振込のみとする。その他の方法では受け付けない。

振込先 ① 郵便局ゆうちょ銀行

口座番号: 00170-4-428108

口座名称: (一社)日本知的障害者水泳連盟

②別添の申込書に必要事項を記入の上、**申込書に大会参加費払込票のコピーを添付し**
郵送すること。

(5) 締切日 平成28年9月5日(月曜日)必着

*締切後の追加申込・変更等は受け付けない。

*納入された参加料等は原則返金しない。

(6) 宿泊 斡旋はしない

(7) 昼食 希望者は、申込書に必要数を記入すること。弁当1個800円

(8) その他 プログラム 参加選手一人に一冊無償で配布予定

20. その他留意事項

(1) ジャパンパラ水泳競技大会出場レベルの知的障害者を対象として参加を認める。対象者へは(一社)日本知的障害者水泳連盟より別途通知がある。知的障害者の実施種目については、別紙「競技種目一覧表」で確認すること。

(2) 本大会の記録は 国際大会出場選手など選考の参考記録にする

(3) 水着については、原則としてFINA及びIPC-SWの規則に従う(従来の緩和規程は廃止する)

(4) 本大会では、ユーストリームによる中継を行う。誰もがインターネット等で競技を見ることができるところを理解の上、参加すること。

(5) 今回は、監督会議は行わないので、ホームページに掲載される注意事項を良く読んでおくこと。

また、当日必要な連絡事項は、アナウンスとともに会場に掲示する

(6) その他、大会の開催について必要な事項は、第33回日本身体障がい者水泳選手権大会実行委員会が定める。